



橋の上下流には階段が設けられ、自由に川に下りることができるよう配慮されており、夏季には水遊びを楽しむ人々の姿が見られる。また、河床には自然石が配置されている。

この「東橋」は、清流との親水性を取り入れ、橋桁から河川の水を自然流下によりシャワー状に放水する設備があり、見ても楽しめるよう工夫している。また、周囲の山々の自然環境に調和するよう檜材が随所に使用されており、親柱には付近に生息するメジロやカワセミなど八羽の陶器製の小鳥の展示ボックスが置かれている。

鳥栖市では、老朽化した橋の架け替えにあたり、機能面に加えて、特徴があり、周辺景観との調和を図った橋の整備を行った。

DATA・BOARD ②6

- ①佐賀県鳥栖市牛原町
- ②延長：23.4m、幅員：9.75m
- ③シャワー状放水施設、野鳥のオブジェ、河川への階段ほか
- ④檜材、縁石ほか

